

広報

リクベツ



## ふるさと銀河線歩くスキーの集い

今回は47名が参加。  
7キロと10キロのコースで心地良い汗を流しました。

2002

4

No. 493

# 町政執行方針

平成14年陸別町議会3月定例会の開会にあたり、町政執行への所信を申し上げ、町議会議員の皆さん、町民の皆さんに対し、ご理解とご協力をお願いを申し上げます。



政府が推し進める構造改革について、特殊法人改革では、民営化する法人が示され、大型公共事業の見直しでは、国の新年度予算案で公共事業1割カットと、より鮮明な形で実行されつつあり、その中において特に地方交付税の削減は、地方の財政を直撃する深刻な事態となっております。

多くの地方公共団体におい

## かつてない危機的な財政状況

当町では、この起債につきまして、平成13年度に1億3千万円余りを借りることとなり、さらに、平成14年度の当初予算では、2億5千万円を計上しております。

つまり、普通交付税で確保していた財源を、借金に頼らざるを得ない状況となっており、ことを示しており、この財政状況は、かつて無い危機的なものであると言わざるを得ません。

また、このような財政環境の流れの中で、市町村合併についての議論がますます強まってくるのが、予想されます。

この激流ともいえる流れに、一方的に流されないためには、健全財政の確保が必須の条件

で、一般財源の大部分を占めます。地方交付税が、平成13年度から大幅に削減され、新年度におきましては、それを上回る削減が想定されており、国では、この削減による地方の財源不足分を補うための財政措置として「臨時財政対策債」という起債の制度を創設しました。

であると考えます。今後大変厳しい選択の中で、財政運営を行っていく所存でありますので、なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

産業の分野におきましては、林業で木材価格の長期低迷が続く中、昨年町内唯一の製材工場の稼働が停止し、また、農業では、牛海綿状脳症（BSE）問題の影響で、酪農・畜産振興を目指す本町にとつて憂慮すべき事態に陥っており、いずれをとっても産業基盤そのものを揺るがしかねない状況となっております。

また、診療所体制につきまして、長年課題となっており、またした医師の二人体制が、4

月からスタートできる見通しとなり、岩永所長を中心として、地域のニーズに配慮される、よりきめ細かな医療を提供してまいりたいと存じます。

準備を進めておりました診療所並びに保健センター建設事業につきまして、本年より、いよいよ実施の段階となりますが、この事業を着実に進めることで、保健・医療・福祉をより一層充実したものとし、住民の皆さんがいつまでも安心して暮らせるように、さらなる努力を重ねていきたいと存じます。

また、ますます厳しくなる財政環境のなかで、長期的な事業の再評価を行い、事業効果等を検討した上で見直しを図り、効率的な事業の執行とともに緊急度・優先度を十分勘案の上、メリハリのある行政サービスに努めるよう、さらなる効率化を図っていきたいと考えております。

その中におきましても、当町のおかれております雇用環境の大変厳しい状況を見ますとき、平成14年度では、国の政策にそって緊急雇用対策事業を行いたいと考えております。併せて産業振興策につきましても緊急の課題と認識いたしまして、広く皆さんの意見を伺いながら取り組んでいく所存であります。

冒頭にお話ししました「臨



時財政対策債」の制度につきましては、平成15年度までに限られており、以後の措置については、未確定のままとなっております。

そのため、この先の財政運営は極めて厳しいものとなりますが、可能な限りの経費を圧縮し、対処して参りたいと考えております。また、新年度におきましては、各種補助金等に関しまして見直しを行いました。さらに、人件費の抑制につきまして、給与制度等の見直しを進めていく考えであります。

なお、町民の皆さんにご負担をいただいております各種使用料等の見直しを進めることとなりますが、特にその中でも、水道料金の改定につきまして、具体的に検討を加えて参りたいと考えております。

このような厳しい財政状況においても、今後ますますきめ細やかな行政サービスが求められ、さらには、より迅速な処理が必要となっている今日において、住民の皆さんがより分かりやすく、また、職員の業務効率をより向上することは、欠かすことのできな課題であります。

そのための方策として今回、現在の機構の見直しについて、提案いたしたいと思っておりますので、よろしくご理解を賜りたいと存じます。

以上が、新年度において、私が特に重点的に取り組んで参りたい基本的な考え方の説明でございます。

次に、新年度予算案に盛り込みました事業のうち、主なもの、あるいは特徴的なものについて、その方針を説明申し上げます。

**総務費関係の事業について**

最初に、陸別テレビ中継局整備事業について申し上げます。UHBとHTBに係る当中継局は、昭和57年に陸別町が建設し、開局後19年が経過いたしました。今後、良好な画質を維持することに著しい不安がでて参りましたので、受信機器の更新に必要な予算を計上いたしました。

カナダ・ラコム町との姉妹友好提携につきましては、昨年8月、ラコム町のバット町長が来町の際、再盟約書調印というかたちで、あらためて確認したところであります。

その後、ラコム町では、町長が交代されたとのことでありますが、15年の友好関係を土台に、さらに交流等を深めて参りたいと存じます。特に、中学生等の海外研修事業につきましては、非常に有用な効果を上げておりますので、引き続き実施をして参りたいと考えております。次に、ふるさと銀河線関係であります。



昨年は、SL「銀河号」の運行イベントが行われ、大勢の人で賑わい、一定の成果を上げたところであります。しかし、昨年の台風15号被害の復旧工事に臨時的な出費を要したこともあり、また、輸送人員の減少等が依然として続いており、経営的には、かなりの厳しさを認めざるを得ません。しかしながら、当町における唯一の公共交通機関でありますし、町民の足を守るためにも、存続を前提に必要な財

政負担をして参りたいと考えております。

次に、しばれ技術開発研究所に対する助成について説明いたします。

この1月から2月にかけて、町としばれ技術開発研究所が協力して、町民運動場において、2つの大がかりな実験が行われました。

まず、国立極地研究所が行った南極の氷柱掘削に使用するドリルの実験・研究であります。以前当町で行われた実験の成果は、1997年に地下2,503mにある氷採取を成功に導いており、高く評価されておりますが、今回はそれを上回る地下3,030mの氷の確保を目指すものと聞いております。

もうひとつは、航空宇宙技術研究所が行った航空エンジン物の実験であります。

いずれも、当町の気象特性である「日本一寒い町」が、実験に適した条件として選ばれただけでなく、しばれ技術開発研究所の熱心な働きかけと的確なサポートによって実現されたものと思えます。

引き続き、実験・研究の場として協力していただくために、所要の助成を行うよう、予算を計上いたしております。ふるさと交流センターについてであります。

道の駅が昨年1月にオープンして以来、当施設を訪れる人の数が増えているのは、昨年4回実施した交通量調査や物産館の買い物客の動向からも明らかであります。今後におきましては、一時滞在型から長期滞在型となるためには、どんな工夫が必要なのかを探って参りたいと考えております。



次に、「冒険・体感inとうきょう派遣事業」であります。昨年初めて実施いたしました本事業には、町内の小学6年生24名全員のご参加をいただき、首都圏の生活を肌で感じてもらえたことは、大変意義深いものであったと思えます。この事業を行うことで、従前から実施しております「サマーinりくべつ」と合わせ、名実ともに都市との交流が実現したのであります。このことは、必ずや陸別の将来に良い結果をもたらすものであると確信しております。



次に、銀河の森事業について、説明申し上げます。  
コテージ村につきましては、知名度の浸透が進んだことにより、着実に稼働率を伸ばしているところでございますが、今後は、冬期間の利用促進策に知恵をしばって参りたいと存じます。



天文台関連では、実に12年ぶりに本格的なオーロラが観測されたことが、何と申しましても大変喜ばしいことでありました。また、「しし座流星群」の天体ショーでは、好天に恵まれ、流れ星が降り注ぐ「流星雨」が観測されましたし、テレビ放送等により、全国に紹介されるなど、空気が澄み、かつ夜空が暗いといった陸別の気象特性や地理的好条件を存分にアピールすることができました。

これらによって、来町者数が増加し、また、各機関の研究の場としても、ますます利用されることを、強く期待す

るものであります。  
**民** 生費並びに衛生費関係について申し上げます。

まず、住民基本台帳ネットワークに関する施設整備につきましては、国の計画にそって順次整備を進めていくところであり、運用試験につきま

しては、先月後半より既に行っており、平成15年の本格運用までに万全を期して参りたいと存じます。

保育所につきましては、平成13年度から「2歳児保育」を始め、現在3名のお子さんを預かりしているところですが、新年度の対象者について10名ほどを見込んでおり、より充実した内容としていきたいと考えております。



高齢者の方々に対する施策といたしましては、介護保険制度をはじめとする現行制度を補完するサービスタワーとして、新たに「生きがいホーム通所事業」を実施したいと考えて

おります。

この事業は、要介護高齢者及びその家族等に対し、介護予防サービスタワー、生活支援サービスタワーを提供することを目的としております。このことにより、家族の介護負担軽減を図るとともに、在宅の高齢者には、生きがいを感じていただくたいと考えているところでございます。

この事業につきましては、若葉町にあります「若葉生きがい交流館」を活用し、民間の力をお借りして実施して参りたいと存じますが、そのための所要の予算を計上いたしました。

また、新年度より「訪問理美容サービスタワー」を行いたいと考えております。この事業は、身体の障害や疾病等の理由により、理髪店や美容院に出向くことが困難である高齢者に対して、自宅でこれらのサービスタワーを受けられるようにするもので、所要の予算を計上いたしました。

次に、社会福祉協議会に関して申し上げます。

これからの福祉関係におきましては、よりきめの細かいサービスタワーを提供する必要性を感じるところであります。

当協議会において、かねてより、検討をさせていただいておりました専任の事務局長を配置するために、必要な助成

予算を計上いたしました。

平成13年度から社会福祉法人北勝光生会が進めております、「知的障害者授産施設みどりの園」の改築整備事業に対する支援につきましては、2箇年の継続事業であります。平成14年度分の年割額を予算に計上させていただきます。



また、緑町地区におきましては、周辺道路の整備を進めており、完成後には、地域全体がすばらしい環境になるものと確信いたしております。

次に、ごみ処理対策について、ご説明申し上げます。

池北三町一般廃棄物処理施設の建設は順調に進んでおり、名称も、一般公募により「銀河クリーンセンター」と決まりましたが、当該施設の建設費用等に係る所要の予算を計上いたしております。

12月からの稼働を予定しておりますが、町民の皆さんには、4月から分別収集に向け

た試行をお願いして参りたいと存じます。

なお、従前にも増して、ゴミの分別収集並びに減量、再利用につきましては、特段のご理解、ご協力を賜りたいと存じます。

**労** 働費関係であります。

国の政策であります緊急地域雇用創出特別対策事業によりまして、冒頭申しました地元雇用対策の具体的施策として、ふるさと銀河線周辺の環境整備並びに北稜岳の登山道整備を行うため、所要の予算を計上いたしました。

次に、農林業関係につきま

**農** 業費につきましては、平成12年度から始めまし

た鹿柵の設置にしましては、最終年次分として62.5km(内、公共草半分9.5km)を計画し、所要の予算を計上いたしました。

これによりまして、総延長16.8kmの全体計画が完了いたします。内訳としまして、平成12年度50.0km、平成13年度55.5km(内、公共草半分10.5km)であります。

冒頭にも申し上げましたが、牛海綿状脳症(BSE)問題の影響は、甚大かつ深刻なものがあります。この対策といたしましては、まず、国が創設した大家畜経営維持資金につ



いて対応することとしております。

さらに、この対策に乗ることのできない畜産農家に対しましては、町独自の対策といまして、既存の農業活性化総合資金に「BSE対策」資金を追加し、この資金に対する利子補給を行うよう、所要の予算を計上いたしました。

また、中山間地域等直接支払事業にしましては、平成12年度から引き続き、集落協定に基づき推進を図りますが、より有効かつ効果的な内容を関係機関と協議をして参りたいと考えております。

公共草地につきましては、管理経費を必要最小限にとどめることで、さらに効率的な運営を目指しているところですが、今後のありようにつきましても引き続き検討を加えているところでございます。



次に、農畜産物加工研修センターについてであります。

今後、ハーブ、野菜、果実等幅広く地場産品への可能性を探り、出来るだけ早い製品化を目指したいと存じます。そのための具体的な展開につきましては、商工会や農協その他関係機関と十分に話し合い、連携を深めていきたいと存じます。

また、林業関係につきましては、民有林造林促進事業の中で、間伐材流通対策につきましても引き続き所要の予算を計上させていただきます。

林道関係につきましては、宇遠別線開設、銀河の森線改良、普通(間伐)林道クンネベツ3号線開設などの各事業にそれぞれ所要の予算を計上いたしました。

### 商

工費関係につきましまして、説明申し上げます。

現在、陸別町商工会が計画しております懸案の商工会館建設事業に対しまして、一部助成することとし、所要の予算を計上いたしました。

当会館建設にしましては、福祉センター等既存の公共施設の利用につきましても、検討いたしました。また、国の助成を受けながら、新規に建設する運びとなっております。これに対する助成について、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この施設につきましては、ふれあいの場として、

今後の商工業の振興発展につながりますよう、切に期待するものであります。

次に、しばれフェスティバルについて申し上げます。

当イベントは、1982年(昭和57年)から始まり、先月2日から3日の開催が21回目となりました。



特に今回は、前段の雪不足、暖気さらに追い打ちをかけるような雨交じりのみぞれに見舞われるなど、過去最も厳しい条件下でありましたが、実行委員をはじめとする関係者の方々の並々ならぬ努力により、大成功を収めたことに対し、ここに改めて敬意と感謝を申し上げます。

また、昨年12月には、当実行委員会が財団法人あしたの日本を創る協会から「ふるさとづくり大賞」の特別賞として「道地域活動振興協会理事賞」を受賞されました。

このことは、しばれフェスティバルが、町の振興に果た

してきた功績を、改めて称えるものであります。この伝統あるイベントをぜひとも続けていただきたく、今後とも実行委員をはじめ関係者のご理解ご協力を賜りたいと存じます。

オフロードレース大会については、これまでのレース運営の実績と地道な活動が実を結び、昨年9月に国際自動車連盟(FIA)公認の国際格式ラリーである「インターナショナルラリーイン北海道2001」が当町のサーキットコースをはじめ、十勝管内8市町村で開催されました。今年はより大きな規模の「アジアパシフィック選手権大会」が予定されるなど、WRC(世界ラリー選手権大会)の誘致へ着実に歩を進めているところであります。



パッチ選手権大会につきましては、日程の都合上、今年4月と来年の3月に開催となり、2回分の予算を計上い

たしてあります。



次に、土木費関係について、町道の維持補修並びに新設改良であります。緊急性を十分勘案して所要の予算を計上いたしました。

なお、主な事業実施予定箇所は、次のとおりであります。

- 東トマム8号線凍雪害防止—幅員5.5m/延長200m
- 緑園通り—幅員5.5m(両3.5m)/延長98m(改良)、275m(舗装)
- 東1条仲通交通安全一種—歩道拡幅(両3.5m)/延長400m
- 駅南通り局部改良—幅員5.5m(両2.0m)/延長114m
- 中陸別下陸別線舗装—幅員5.5m/延長275m
- 保育所本通り舗装—幅員5.5m(両4.5m)/延長137m



○緑町線局部改良(幅員5・5m(片3.5m)/延長100m

次に、公営住宅関係でござい  
ますが、第1若葉団地・1棟6戸の建設工事費のほか、今後の下水道設置等の改善事業や、立て替え事業等を推進する上で必要となる公営住宅の管理計画の策定に要する費用を計上いたしました。



このことよって、今後既存の公営住宅の適性な管理戸数を計画することで、的確に建設を進めていきたいと考えております。

### 教育関係につきましては、

将来を担う子供たちのための学習環境整備、史跡ユクエビラチャシ跡整備のための発掘調査・環境整備事業、関寛斎陸別入植100周年記念事業などに関し、教育委員

会の意向に基づき、所要の予算を計上いたしました。

### 災害復旧費につきましては、

昨年9月11日の台風による被害のうち、林業用施設(林道)の災害復旧3路線7箇所に係る費用について計上いたしました。

### 特別会計関係、国民健康保険事業勘定について、申し上げます。

国民健康保険事業勘定につきましては、保険給付費や老人保健拠出金の大幅な増大に伴い、加入者の方々からの負担増をお願いせざるを得ない状況にあります。

従来から、一般会計からの繰入金により当会計の収支バランスを保っておりますが、受益者負担の公平性の観点から、国保税の増額をお願いすることといたしました。

しかしながら、急激な負担増とならないように、今回、国民健康保険基金からも繰入れることといたしましたのでご理解を賜りたいと存じます。次に、直営診療施設勘定関係であります。

冒頭に申し上げましたとおり、念願の医師二人体制の実現に至り、より安定した医療を供給して参りたいと存じます。

経営的には、当面厳しい状況が続いておりますが、引き続き経費の圧縮に努めて、経

営努力をして参りたいと存じます。

また、診療所・保健センターの開設を予定しております。2年後を見据えて、文字どおり地域包括医療の実践の場として、保健センター等との総合的な連携のもとに、体制づくりを行っていきたくと考えております。



次に、簡易水道事業関係について、申し上げます。

配水管布設替え工事につきまして、新年度は、東1条2区、若葉、苦務の3地区において整備を行うよう計画しております。

今後は、苦務地区の一部につきましては、現計画の継続であり、その他は、新たに行われる道路整備や団地整備に伴う工事として行って参ります。

これで、当初計画をしました事業につきまして、ほぼ完了に近づいております。今後におきましては、質の良い水を安

定供給するために、施設維持に万全を期して参りたいと考えております。

なお、現在ご負担いただいております水道料金につきましては、当会計の収支バランスを考慮しつつ、できるだけ早く、改定への指針を取りまとめたいと考えております。

次に、下水道事業関係について申し上げます。下水道の汚水管渠新設工事につきまして、新年度は、若葉町、緑町、下陸別の3地区、720mの工事を行うよう、所要の予算を計上いたしました。

また、事業計画に基づきまして、浄化センターの施設増設を行い、供用延長、利用増加に伴い、必要となる処理能

力アップに備えたいと考えております。

また、現在行われております国道の陸別橋改修工事に伴い、その橋に添架してあります下水道管渠の架換えが必要となりますので、所要の予算を計上いたしました。

次に、介護保険事業勘定関係について、申し上げます。

国の政策として半額減免されてきました保険料につきましては、昨年10月からは、若干の軽減を残し、ほぼ全額をご負担いただいております。

負担に見合った、よりきめ細やかなサービスを供給するため、また、要望にお応えできることを目指し、体制づくりを行って参りたいと存じます。

以上が、3月定例議会にありましての所信の一端であります。

これからの町政を進めるにあたりましては、従前の枠組みを越えた、全く新しい発想を持たなければなりませんし、そのことを常に意識して行動していかなければならないと思っております。

また、財政の見直しから申しますと、今後につきましても、より厳しい決断、

選択をしていかなければ、この難局を乗り越えられないと考えておりますが、町民の皆様への付託に答えられるよう、そして安心して暮らし続けられるまちづくりを第一に考え、全力を尽くす所存であります。

議会並びに町民皆様の一層のご理解とご協力を、心からお願ひ申し上げます。執行方針といたします。



# 教育行政執行方針

平成14年度の教育関係予算をご審議いただくにあたり、教育行政推進の重点を申し上げ、町議会並びに町民の皆さんのご理解とご協力を賜りたいと思います。



昨年は、21世紀の幕あけとなる大きな節目の年でありましたが、経済や財政などあらゆる分野において構造改革が進められ、教育においても教育改革を推進する関連法律が成立するなど、大きな動きが始まった年でもありました。

21世紀2年目はこれらを踏まえて、文部科学省が昨年11月に「教育振興基本計画の策定」と、「教育基本法の在り方」について中央教育審議会に諮問しました。この諮問を機に、新しい時代にふさわしい教育の実現に向けて、幅広い観点に立って審議が進められていくと見られます。これからの教育は、激動の時代なればこそ、時代の大きな流れをよくよく見極め、未来への展望に立って、いかに円滑に対応していくかが大きな課題となっております。

教育委員会といたしましては、このような社会や時代の要請に的確にこたえるため、本町の恵まれた自然環境や特色ある文化を生かしながら、家庭・学校・地域社会が一体となった教育行政の推進に努め

てまいります。

## 学校教育について申し上げます。

本年4月から、全国の公立小・中学校で完全学校週5日制がスタートし、新しい学習指導要領にもとづく授業が全面実施されます。

完全学校週5日制は、子どもたちが土曜日、日曜日を利用して、家庭や地域社会で生活体験や自然体験、社会体験、文化・スポーツ活動など、様々な活動や体験をさせ、望ましい人間形成を構築するためのものです。

そして新学習指導要領は、子供たちに基礎・基本を確実に身につけ、それをもとに、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する能力や、豊かな人間性、健康と体力などの「生きる力」を育成することを基本的なねらいとしています。

また、最近文部科学省は「確かな学力の向上のための2002アピール」[学びのすすめ]を示し、繰り返し指導などで、つまづきを克服し

たり、課題にじっくり取り組みさせるなどの、きめ細かな教育活動を行うこととした重点を明らかにしたところです。これらを踏まえて、各学校

においては自ら学ぶ力と、豊かな個性を身につけた児童生徒の育成に努めるとともに、地域に開かれ、地域に親しまれる学校づくりを推進してまいります。そのためには、各教科の学習の時間において、地域の教育力を活用していくことが大切となり、保護者や地域の方など学校外の人材を、学校にゲストティーチャーとして招き、学習指導の支援をしていただくなど、地域に根ざした学校づくりを推進してまいります。

本年度から本格的に実施となる「総合的な学習の時間」は、地域や学校、子どもたちの実態に感じ、学校が創意工夫して特色ある教育活動を行うもので、各学校では一昨年から移行措置期間として、段階的に実践や研究に取り組んでまいりました。

陸別小学校では、国際理解に関する授業として、各学年担当と国際交流員が連携し、英語を聞いたり、話したりして慣れ親しむ英語活動や、外国の人や文化を知り、自国との違いや共通性を認識するといった調べ活動、音楽やゲームを通しての国際交流活動に





取り組んでいます。また体験的授業として農園活動に取り組み、栽培から収穫まで一連の生産活動を行う授業を、全年齢で構成する縦割り班（異年齢集団）を編成して実施しております。

陸別中学校では、独自のオーロラタイム（生徒が設定した課題の解決学習時間）、チャレンジタイム（苦手教科克服時間）、ハウツータイム（表現活動の時間）を設けユニークな活動の研究成果を公開授業の中で発表してまいりました。また、この研究実践論文が高く評価され北海道教育委員会から最優秀賞に選ばれ、平成13年度北海道公立学校教育課程実践研究成果報告集に全文掲載され、全道の学校並びに教育関係者に配布されることになっております。

このほかに、各学校学年ごとに情報、環境、文化、福祉、地域活動などの課題を設定しながら、授業を展開しておりますが、本年度も各学校が特色ある教育活動を効果的に行うために、総合的な学習推進事業として所要の予算を計上いたしました。

現在教えるプロの教師として、資質の向上、意識の変革が求められております。教育改革の当事者としての自覚を持ちながら、地域性を生かした教育課程の編成や、実施に工夫を凝らしていただきたいと考えております。そして教師一人ひとりが、自らの人格を高めるとともに、教科、教職に関する専門的知識を深め、様々な指導法を身につけるなど、自己研修はもとより、校内外における研修の推進と、各種研修会や講座等へ積極的参加の促進を図ってまいります。

また、文部科学省が実施している在外教育施設派遣教員として、大韓民国に駐在する日本人の子女に対し日本の教育を教えるため、陸別小学校教諭1人を本年度から2年間「ソウル日本人学校」へ派遣することになりました。

新学習指導要領の実施に伴い教科書が全面改訂となり、昨年度十勝管内19町村で「第12地区教科書採択教育委員会

協議会」を設置し、その中で本年度から小学校及び中学校で使用する教科書を決定し採択したところです。これに伴い新教科書に準拠した教師用指導書、指導用資料を購入する所要の予算を計上いたしました。



近年全国的に、学校内で児童等が殺傷されるなど、予期せぬ事件や事故に巻き込まれるという事態が発生していることは、誠に残念で痛ましい限りです。

児童生徒の安全確保及び学校の安全管理については、各学校で来訪者の確認、不審者情報に係る関係機関との連携、学校施設設備の点検、児童生徒への安全指導等への取り組みを行っているところですが、これからも適切な安全教育、安全管理が推進されるよう指導してまいります。

また、登下校時において子どもたちの安全が確保される



よう、町生活安全推進協議会では、「子ども110番の家」の旗を協力店に設置し、未然防止に協力いただいておりますが、これからも各関係機関の連携、協力のもとに、地域ぐるみで児童生徒の安全確保に努めてまいります。

学校施設の環境整備については、児童生徒が整った環境の中で、充実した教育が受けられるように整備を行っているところです。本年度陸別中学校の下水道接続工事、トイレ改修工事を、国庫補助事業の公立学校建物大規模改造事業で計画しておりましたが、平成13年度国の第2次補正予算対応事業として前倒しで補助対象となりましたので、13年度補正予算で繰越明許事業として予算措置し、工事については本年度実施してまいります。

**社**会教育について申し上げてまいります。生涯学習社会における社会

教育は、町民一人ひとりの自発的意志による学習活動への関心を高め、発達課題や社会的、時代的課題に応じて、だれもが、いつでも、どこでも学び、さらには学んだことを分かち合うことができる環境が求められております。

つきましては、第5期陸別町社会教育計画にもとづき、町民の多様化するニーズに 대응する学習機会の拡充や相談、学習情報の提供、団体サークルの育成等を推進しながら、生涯学習の観点に立った社会教育の推進に努めてまいります。



完全学校週5日制の実施に伴い、地域で子どもを育てる環境を整備し、親と子どもたちのさまざまな活動を推進するため、昨年度文部科学省から全額助成を頂き「陸別町子どもセンター」を設置し、情報誌「りくキッズ」を発行してまいりました。この事業は3年



間の継続事業で、本年度も体験学習や子育てを支援する事業、学校行事や少年団活動の紹介、イベント等の情報を幅広く集めて提供してまいります。

陸別町ならではの子どもたちへの素晴らしい体験事業として、中学生段階で平成4年度から実施している、カナダ・アルバータ州ラコーム町への「中学生等海外研修派遣事業」は、国際化時代に対応した貴重な経験です。

また、小学生段階で昨年度から始まった「冒険体感inとうきょう派遣事業」は、都市圏との学校間交流や社会体験をすることにより子どもたちの見聞が広まり大きな成果がありました。体験は子どもたちの豊かな感性、興味や好奇心を育てる源泉であり、成長の糧である「生きる力」を育む基盤でもあります。今の時代にあった感動と実感を与える事業ですので、これからも協力してまいります。



本町は、先人たちの労苦に

より現在の姿があります。特に孤高の医師「関寛齋」が、明治35年厳しい自然とたたかいつながり、斗満に開拓の鋤を入れたことにより陸別の歴史が始まり、以来今日の陸別形成の道を切り拓いたばかりでなく地域医療の先駆者でもあります。本年が入植100年にあたり、先人が挑戦した開拓精神をこれからも継承し、併せて寛齋の人生を顕彰する「関寛齋陸別入植100周年記念事業」に所要の予算を計上いたしました。



道内を代表する史跡ユクエピラチャシ跡については、保存整備基本計画の具現化を図るため、引き続き遺跡の保存整備に必要な調査研究、保存整備方法、保存整備後の活用計画を、昨年度保存整備委員会で審議いただき、保存整備基本設計報告書をまとめたところです。本年度から2年間、文化財補助事業史跡等保存整備事業の補助を受けなが

ら、遺構復元事業を行うための発掘調査、景観整備のため植栽工事を主体とする環境整備等に所要の予算を計上いたしました。

国指定の文化財であり、町民の貴重な財産でもありますので、次の時代に引き継がれるような保存整備を進めてまいります。

スポーツは、健康の増進、体力の向上に資するのみならず、爽快感や達成感、他者との連帯感など精神的充足をもたらす、人々との相互の理解や認識を一層深めるなど、明るく豊かな生活を送るうえで有効な役割を果たしてきています。また近年は、個々のスポーツニーズも多様化し、競技スポーツから健康スポーツへ、チームスポーツから個人スポーツへ、さらに、やるスポーツから見るスポーツへと、様々なスポーツ活動が展開されてきております。



本町においても高齢化社会を迎えた今日、町民の健康への自己管理意識が高まりつつあります。特に最近の軽スポーツとして、屋外でのパークゴルフやウォーキング、屋内でのミニバレーやフロアリング等が普及し、余暇時間を利用して町民一人ひとりのライフスタイルにあった、スポーツ振興が定着してきております。これからも体育指導委員、体育連盟、スポーツ少年団とも連携を図りながら、だれもが生涯にわたって健康で体力づくりに取り組めるよう、スポーツへの参加の機会や、既存施設の有効な活用など、四季を通してスポーツ活動ができる環境を整備してまいります。

完全学校週5日制の導入に伴い、子どもたちにゆとりの時間の過ごし方の支援対策として、小学生を対象に町内の

スポーツ施設等を利用して、親子で楽しむ「わんぱくスポーツ体験事業」を開設します。色々なスポーツを体験することにより、体を動かす喜びや、スポーツ活動を続ける意欲を育てるなど、子どもたちの体力づくりを応援してまいります。

最近ニューススポーツとして、カーリングからヒントを得て誕生した「カローリング」は、ローラー付きの円盤を使って滑走させ、ポイントゾーンに停止させて得点を争う競技で、室内どこでも手軽に楽しめるゲームとして普及してきております。昨年度財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、カローリングセット用具を購入いたしましたので、町民の皆さんに軽スポーツとして楽しんでいただくよう普及に努めてまいります。

以上、本年度の教育行政に関する主要な施策について申し上げますが、これからの町民の皆様の負託に応えるため、本町の教育、文化、スポーツの振興に最善の努力を傾注してまいります。

たいと存じますので、町議会、町民各位の一層のご理解とご協力を賜りますよう心から念願して、平成14年度教育行政推進の方針とさせていただきます。



# 教育振興賞表彰

3月21日(木)、平成13年度陸別町教育振興賞表彰式が行われました。

今回表彰されたのは、第33回全道書道展で秀作受賞した大通の河本昌代さんら合計60名の個人と8団体です。

表彰にあたり佐々木由利子教育委員長から、小さな町から大勢の表彰者がたことはいれしい、皆さんが持っていることを日頃から児童生徒にも伝えてほしいと式辞が述べられ、受賞者を代表し平井久美子さんから、これからも技術の向上に努めたいとあいさつがありました。(団体の個人名は敬称略)



- ★文化奨励賞(一般部門)
- 河本 昌代さん(大通)
- 第33回全道書道展 秀作
- ☆文化努力賞(一般部門)
- 野島 俊彦さん(下陸別)
- 第33回全道書道展 入選
- ★児童生徒文化奨励賞(生徒部門)
- 鈴木 涉太さん(中3)
- 第44回十勝子ども大会 技術作品の部 特選
- 三輪 隼平さん(中3)

- 同大会 技術作品の部 特選
- 梅田 昌範さん(中1)
- 同大会 技術作品の部 特選
- 木田 建伍さん(中3)
- 平成13年度中学生「税についての作文」北海道納税貯蓄組合連合会 優秀賞
- 浦田 美鈴さん(中3)
- 平成13年度統計グラフ全道コンクール 特選
- 白取亜希子さん(中1)
- 第29回中学生作文コンクール 優秀賞
- ☆児童生徒文化努力賞(生徒部門)
- 原田 陽一さん(中3)
- 第44回十勝子ども大会 英語暗唱の部 最優秀賞
- 山本 真平さん(中2)
- 同大会 英語暗唱の部 最優秀賞
- 渡邊 祐哉さん(中3)
- 同大会 絵画の部 入選
- 小栗 七恵さん(中3)
- 同大会 絵画の部 入選
- 高橋かなえさん(中3)
- 同大会 技術作品の部 入選
- 三品麻美さん(中3)
- 同大会 技術作品の部 入選
- 谷内田俊文さん(中1)
- 同大会 技術作品の部 入選
- 佐藤 茜さん(中1)
- 同大会 技術作品の部 入選
- 宇野 里美さん(中3)
- 第4回全十勝児童生徒俳句大会 秀逸賞
- 大西紗弥香さん(中3)
- 平成13年度中学生「税についての作文」十勝池田地区納税貯蓄組合連合会 優秀賞
- 渡辺 藍さん(中2)
- 第33回全国学生書道展覧会 優秀作
- 高橋あゆみさん(中1)
- 同展覧会 優秀作
- 高萩 慶太さん(中1)
- 同展覧会 秀作
- 伊倉 大亮さん(中1)
- 第29回中学生作文コンクール 入選
- 高木彩也香さん(中1)
- 同コンクール 入選
- 陸別中学校3年A組(渡邊和貴、木田建伍、西岡望、早坂美穂、高田裕絵)
- 第15回中学校かべ新聞コンクール 十勝大会 特別賞
- ★児童生徒文化奨励賞(児童部門)
- 佐々木絵里香さん(小5)
- 第44回十勝子ども大会 書道の部 特選
- 菅野 奈美さん(小5)
- 第12回北方領土返還意識高揚習字展 捉捉鳥賞(最優秀賞)
- 菊川 菜里江さん(小4)
- 同習字展 捉捉鳥賞(最優秀賞)
- 朝日 美帆さん(小3)
- 同習字展 捉捉鳥賞(最優秀賞)
- 鈴木 初雪さん(小3)
- 同習字展 捉捉鳥賞(最優秀賞)
- 平井 界さん(小4)
- 平成13年度北海道青少年科学校技術振興作品展 奨励賞
- 三好 美穂さん(小2)
- 第44回十勝子ども大会 書写の部 特選
- ☆児童生徒文化努力賞(児童部門)
- 羽藤 和広さん(小5)
- 第11回おびひろ児童版画コンクール 銅賞
- 井上智奈都さん(小2)
- 同コンクール 銀賞
- 我妻 志織さん(小5)
- 第44回十勝子ども大会 手芸の部 入選
- 中島 利奈さん(小3)
- 同大会 絵画の部 入選
- 板垣 汐美さん(小2)
- 同大会 工作の部 入選
- 東海林加奈さん(小4)
- 第33回全国学生書道展覧会 優秀作
- 板花 昂太さん(小3)
- 同展覧会 優秀作
- 鈴木 広太さん(小1)
- 同展覧会 秀作
- 青柳 茉侖さん(小1)
- 同展覧会 秀作



- ★スポーツ奨励賞(一般部門)
- 陸別オーロラ(平井久美子、織田清美、山内和子、渡辺優美子、松本己紀子)
- 第2回湧別町ミニバレー協会 長杯女子の部 優勝
- ☆スポーツ努力賞(一般部門)
- 岡 村 とさるさん(新町1区)



- 老人クラブのゲートボールの普及と育成指導に功績があった。
- 阿部 政重さん(新町2区) 同功績。
  - 伏見 昌夫さん(東斗満) 同功績。
  - 吉田 幸子さん(東1条2区) 第4回おけとウルトラパークゴルフ大会 女性の部 1位
  - 下館 史嗣さん(東1条2区) 陸別サツカー少年団の育成指導に功績があった。
  - オーロラ1号(平井久美子、大瀨文子、渡辺優美子、山内和子) 第9回ミニバレープレジデントカップ上湧別大会 女性の部 3位
  - 北斗星(浦島健造、千田真、大瀨文子、松本己紀子) 第5回オホーツクミニバレーフェスタIN遠軽大会 混成40歳以上の部 3位
  - ☆ジュニアスポーツ努力賞(生徒部門)
  - 高橋あゆみさん(中1) 第8回北海道中学校新人陸上競技大会 1年女子 1000m 6位
  - ★ジュニアスポーツ奨励賞(児童部門)
  - 菊地 提樹さん(小6) 第28回全十勝小学校陸上競技大会 第6学年男子 走高跳 1位
  - 坂倉菜々美さん(小5) 同大会 第5学年女子ボール投 1位
  - 高橋 拓郎さん(小5) 第39回全道空手道選抜選手権大会 小学5年男子 個人型の部 3位
  - 山内 順宗さん(小4) 同大会 小学4年男子 個人組手の部 3位
  - 朝日 美帆さん(小3) 同大会 小学3年女子 個人組手の部 3位
  - 白取実希子さん(小5) 第22回北海道小学生陸上競技帯広会場記録会 5年女子ボール投 1位
  - 池田 瑠亜さん(小4) 第23回十勝地区空手道選手権大会 小学3・4年女子 個人組手の部 優勝
  - 藤本 彩芽さん(小3) 第9回十勝東北部少年剣道本別大会 小学生低学年女子の部 優勝
  - 陸別サツカー少年団6年クラス15名(古田雅俊、工藤優太、山内量寿、小南省吾、山本景太、菊地提樹、高橋準、小栗直基、杉本翔(小6年9名)、山内順宗、正者瞭、高橋雄斗、谷優太、猪狩大、谷内田直文(小4年6名) 第16回勝毎杯浦幌サツカーフェスティバル 6年クラス 優勝
  - 陸別町空手道スポーツ少年団小学男子 山内順宗(小4)、高橋雄斗(小4)、谷優太(小4) 第44回小・中・高校生全国選抜空手之道選手権大会 小学中学年男子団体組手の部 3位
  - 陸別サツカー少年団22名(山本景太、工藤優太、古田雅俊、山内量寿、小南省吾、菊地提樹、高橋準、小栗直基、杉本翔(小6年9名)、谷内田直文、山内順宗、谷優太、猪狩大、正者瞭、高橋雄斗(小4年6名)、板花昂太、猪狩巧、今村拓人、星貴裕、三浦大貴、大

# まちのおしらせ

## INFORMATION

### 平成14年度陸別町 重度身体障害者交通費助成について

この制度は、在宅で身体障害者手帳の交付を受けている、次の方々を対象にハイヤー乗車券を交付し、町内のハイヤーを利用した場合の費用の一部を助成するものです。

- ① 1、2級の下肢障害者及び体幹障害者
- ② 1級の視覚障害者
- ③ 1級の心臓、じん臓及び呼吸器の機能障害者

該当者で乗車券を希望する方は、印鑑と身体障害者手帳を役場保健福祉センターまでご持参下さい。

<お問い合わせ>

役場保健福祉センター係 (電話 7-2141)

- 西啓史、東原謙介(小3年7名) 第14回奥寺康彦杯少年サツカー大会 優勝
- ☆ジュニアスポーツ努力賞(児童部門)
- 三品 佑也さん(小6) 第23回十勝地区空手道選手権大会 小学5・6年男子 個人組手の部 3位
- 三輪 洋平さん(小6) 同大会 小学5・6年男子 個人組手の部 3位
- 山内くる美さん(小5) 第28回全十勝小学校陸上競技大会 第5学年女子 走高跳 2位
- 谷 優太さん(小4) 第39回全道空手道選抜選手権大会 小学4年男子 個人組手の部 4位
- 工藤あずさん(小3) 同大会 小学3年女子 個人型の部 4位
- 猪狩 巧さん(小3) 秋季陸上競技記録会北海道陸上競技フェスティバル小学3年男子 800m 3位
- 朝日 康太さん(小2) 第23回十勝地区空手道選手権大会 小学1・2年男子 個人型の部 準優勝
- 陸別小学校3年生男子(今村拓人、高橋圭祐、猪狩巧、山内美樹) 秋季陸上競技記録会北海道陸上競技フェスティバル小学3年男子 400mリレー 3位



# くらしの情報

## 保健所からの おしらせ

○帯広保健所では、専門職員（歯科医師、歯科衛生士）による歯科健康相談を行っています。歯やお口の病気などでお悩みの方、ご相談のある方はお電話でお問い合わせ願います。

問合わせ先  
帯広保健所 健康推進課健康増進係 TEL 0155-271-8638（内線3645）



## 予備自衛官補募集

[受付] 4月12日まで(締切日必着)  
[採用区分] 「一般」の採用及び「技能」による採用。  
※技能とは、医療・車両整備・語学等の専門技術者の採用です。  
[対象者] 自衛官未経験者  
[採用年齢] (一般)18歳以上34歳未満、(技能)18歳以上で、技能に応じ53から55歳未満  
[処遇] 教育訓練招集手当：日額7,900円  
[教育訓練] (一般)50日/3年以内、(技能)10日/2年以内  
※詳しくは、陸別町役場総務課 電話7-2141  
又は自衛隊帯広募集案内所(帯広市西5条南13丁目第2いせきビル2F)電話0155-23-8718  
http://www.octv.ne.jp/~obi-plo/  
Email obi-plo@m2.octv.ne.jp

○平成14年度から精神保健福祉の相談窓口が市町村に変わります

平成11年6月に「精神保健及び精神保健福祉に関する法律等の一部を改正する法律」が公布されたことにより、平成14年4月1日から精神保健福祉サービスの窓口が市町村に移行しました。

これまでは、精神障害者の保健、福祉、医療に関する相談(または申請)は、保健所が行っていました。が、次のように変わります。

○福祉サービスの利用に関する相談(または申請)は、市町村へ

例えばこんなこと  
・通院医療費公費負担の申請をしたい  
・保健福祉手帳の申請をし

たい  
・その他の精神保健福祉サービスについて知りたい  
◎保健、医療に関する相談は、保健所へ

例えばこんな方

・病院を紹介してほしい/夜眠れない/人とうまくつきあえない  
・仕事をとおして社会的な自立を目指したい(職親事業)

・仲間と社会とのふれあいをもちたい(社会復帰学級)

帯広保健所相談専用電話  
0155-21-9110

詳しいお問い合わせは  
陸別町役場保健福祉センター  
TEL 7-2141

帯広保健所 地域保健推進課  
TEL 0155-271-8704  
(内線3677又は3678)

帯広保健所本別支所 TEL 2-2108

## 障害者情報バリアフリー 化支援事業のおしらせ

北海道では、重度の視覚障害児者や上肢不自由児者の方に対し、情報機器(パーソナルコンピュータ)を使用する際に必要な周辺機器やソフトを購入するための費用の一部を補助する事業を実施しています。

### 事業の概要

対象者は?  
道内(札幌市を除く)にお住

まいの方で、視覚障害1級・2級又は上肢不自由1級・2級の身体障害者手帳を所持している方です。

なお、前年の所得額(各種所得控除後の額)が、特別障害者手当の所得制限限度額を超えない方で、過去に本事業による補助を受けていない方が対象となります。



### 対象品目は?

視覚障害児者の場合の例  
○視覚障害者用ワープロアプリケーションソフト(入力文字を音声化するソフト)  
○画面拡大ソフト(強度の弱視者用に画面を拡大するソフト)  
○画面音声化ソフト(画面の文字を音声化するソフト)など

上肢不自由児者の場合の例  
○インテリキー(障害に合わせることでできる大型キーボード)  
○ジョイスティック(マウスが

使えない方のための操作棒)  
※パーソナルコンピュータ

本体は含まれません。

### 補助額は?

対象品目の購入に要した費用の3分の2以内(ただし、その額が10万円を超えるときは、10万円を限度とします)を補助します。

対象者の方には、3分の1の負担をしていただきます。

### 補助金交付申請には

補助金交付申請には、次の書類が必要となります。

申請書類の用紙は、役場保健福祉センターに備え付けてありますので、お申し出ください。

なお、補助金交付申請書類は、最寄りの支庁で随時受け付けております。

- ①「補助金等交付申請書」
  - ②「補助金等交付申請額算出調査書」
  - ③「購入周辺機器等内訳書」
  - ④「所得証明書」
  - ⑤「身体障害者手帳の写し」
  - ⑥「周辺機器等の購入に要した費用が記載された業者からの領収書(写しで可)」
  - ⑦「周辺機器等の保証書など納品が確認できるもの(写しで可)」
  - ⑧「申請者と補助対象者が異なる場合(補助対象者が障害児の場合など)は、それぞれの住民票」
- ※補助対象者が本人が書類に記載できない場合は、ご家族の方などが代筆されても結構です。  
書類の提出先  
十勝支庁総務部社会福祉課  
TEL 080-0803  
帯広市東3条南3丁目1番地  
電話0155-271-2188





3月15日(金)陸別中学校で卒業式が行われ、式では、那賀島校長から卒業生32名それぞれに卒業証書と思いの言葉が添えられました。

3月22日(金)に行われた陸別小学校の卒業式では、志田校長から卒業生24名一人ひとりに夢に向かってがんばってと卒業証書が手渡され、6年間の学舎をあとにしました。



詳細につきましては警察署又は最寄りの交番・駐在所でお尋ね下さい。なお、8月頃第2回試験が予定されております。本別警察署(電話210110)

その他  
A区分く平成15年4月以降(既に大学を卒業した者については、平成14年10月又は平成15年2月に採用される場合もある)  
B区分く平成14年10月(平成15年2月に採用される場合もある)

採用予定日  
A区分く警察官(男性)約200名、警察官(女性)約35名  
B区分く警察官(男性)約70名、警察官(女性)約10名

採用予定人員

学校教育法による高等学校に在学中の者を除く。  
B区分くA区分以外の者(学校教育法による高等学校に在学中の者を除く)  
A区分く学校教育法による大学(短期大学を除く)等を卒業した者(平成15年3月卒業見込者を含む)昭和47年4月2日から昭和56年4月1日までに生まれた者

受験資格

21会場

試験場所

帯広、釧路、北見など道内

(第一次試験) 5月19日

試験日

4月8日から4月25日まで

願書の受付期間

北海道警察では、次の日程で警察官の募集を行います。

## 北海道警察官の募集



陸別にある資源を利用し、将来陸別の特産品になりうる産品を発掘しようと、「りくべつうまいっしょコンテスト」が3月2日(土)タウンホールを会場に開催されました。

審査は、地場資源の利用度合い、料理としての品質、アイデア・オリジナリティーの3つの項目で評価され、総合的に、陸別産の牛乳でモッツアレラチーズを作ったフェルミエの会((敬称略)編田美津子、森良子、川初松子、畠野静子、大谷京子)が優勝しました。



陸別町女性団体連絡協議会主催の第45回女性のつどい、第25回女性まつりが3月10日(日)タウンホールを会場に開催されました。

今回は環境がテーマで、集まった約30名の会員は、今月から試行されたゴミの分別収集についての講演や、段ボール箱を使った生ごみ処理の方法を熱心に聞いていました。



## 発掘の現場作業

# 史跡ユクエピラチャン跡

今日は発掘調査における現場作業について話したいと思います。

北海道での発掘調査は雪が溶ける5月の連休明けから、霜の降りる10月末までの期間に現場作業が行われるのが一般的です。

調査は調査区の設定を行なったのち、調査区の掘り下げ、出土遺物の記録、遺構確認、遺構の調査と記録を繰り返しながら進められていきます。

①調査区の設定

発掘調査ではまず始めに調査計画に従って調査区の設定を行ないます。これは遺跡を四角いマスで区切っていつて出土した遺構や遺物の場所を記録するために座標を設定するものです。

②調査区の掘り下げ

発掘調査はテレビなどで報道される調査風景などから、はけを使って丁寧に遺物の姿を明らかにしていく繊細な、あまり体力を使わない作業という

イメージがあると思います。

発掘調査に参加したことがある人であれば、はけを使うほど細かい作業はごく一部であって、大半は移植ごてや草削りを使い、時にはスコップやジョレンなども使って掘り進めていく大変な作業であることを知っているはず。真夏の現場作業は熱射病に気をつけながら、こまめに休息をとっていかないと倒れてしまうほどです。

加えて遺物に注意を払いながら作業を進めなければなりません。遺物が出てきたときは遺物の出土場所を正確に記録するために遺物はその位置に残したまま周囲を掘り下げていきます(図参照)。

③出土遺物の記録

出土した遺物は、出土位置を正確に記録して取り上げを行ないます。この際に遺物には番号を付け、調査区の設定に基づいてx座標・y座標・標高の他、どの土から出てきたかなどを記録していきます。また場合によっては出土状況を写真撮影します。

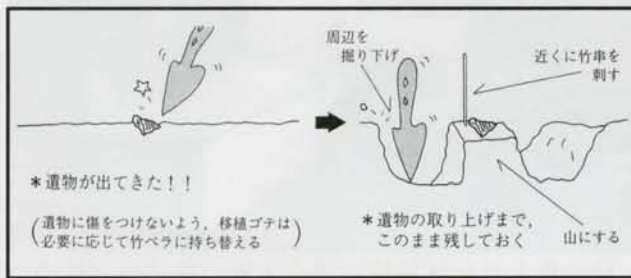
どんなに素晴らしい遺物が出土してもその出土状況の記録がなされなくては資料的価値が無くなってしまいます。したがって掘り下げの際に遺物を見つけたときは細心の注意を必要とします。

④遺構の確認・調査・記録

土器や石器などの遺物に対して、住居跡や火をたいた跡、柱穴の跡などを「遺構」といいます。調査区の掘り下げは全体を一定の深さに保ちながら進めていきますが、遺構が存在する場合、そこだけが土の色が異なるなど性質の違う土が現れてきます。

このため掘り下げは土の変化を逃さないように面を整えながら進めるのです。

このように発掘の現場作業は遺物や土の変化に注意しながら手作業で土を掘り下げていく根気のいる作業となります。現場作業が終わると続いて室内での整理作業が行われます。この作業については来月触れたいと思います。



共和開発株式会社 1998 発掘調査マニュアル「ほるダス」より

## 公民館～図書室だより～図書の紹介

### \* 一般図書 \*

心の開国を ..... 西島 大美  
 知らず知らずに95歳 ..... 石田 文枝  
 世界がもし100人の村だったら ..... 池田香代子  
 堂堂 家族主義 ..... 生島ヒロシ  
 子どもの幸せ親しだい ..... 山口 茂  
 あなたは、子どもに「死」を考えられますか ... ダナ・カストロ  
 ビック・ファット・キャットの世界ー簡単な英語の本  
 ..... 向山 淳子 向井 貴彦  
 狂言サイボーグ ..... 野村 萬齋  
 死者として残されて ..... ベック・ウエザー  
 究極のわが家「100年マンション」の誕生... 江本 中  
 さわやかな浴室・洗面トイレ ..... ニューハウス出版  
 実例 私たちのバリアフリー住宅 ..... 永井 一夫  
 ゼロからの節約生活 ..... 丸山 晴美

合成洗剤 買わない主義 使わない宣言 ... 坂下 栄  
 ほどよく長生き死ぬまで元気遺産そこそこ遺書なし  
 ..... 鈴木輝一郎  
 山医者 の読みグスリ ..... 見川 鮎山  
 安楽病棟 ..... 帯木 蓮生  
 甘露梅 ..... 宇江佐真理  
 利家とまつ 上 ..... 竹山 洋  
 宮澤賢治殺人事件 ..... 吉田 司  
 フィンガーボウルの話のつづき ..... 吉田 篤弘  
 シャトルージュ ..... 渡辺 淳一  
 目の見えない犬ダン ..... 大西伝一郎

### \* 児童図書 \*

ともくんかっとなげ ..... 森本 和子  
 わかるかな!? なぞなぞ小学1・2年生 ... なぞなぞたんけん



国際交流員の招へい事業

ドンのコラム

Don Myubang

陸別町では1991年から国際交流員をおいて以来、過去10年半の間、5人の国際交流員が町のために働いています。最初の国際交流員はエドモントン市の近くラクラビツシユ町出身のタミークリス・ホールさんとカメロン・ワイリーさんが赴任しました。その後はアルバータ州出身のジェイソン・バンハイフトさんと私ドン・マイヤホツグです。その間の教育長は宮川教育長と佐藤教育長ですが、私たち国際交流員に対して多大なる支援と激励をいただきました。

私はある町職員に「国際交流員が日本で生活して苦労する点は何だと思うか」と尋ねました。その職員が言うには、新しい国際交流員は、いろいろなことを覚えるのに最低1ヶ月はかかることが苦労している点だそうです。これは、日本の社会になれるために、生活や仕事をする上で細部にわたって、いろいろな人にアドバイスをもらわなければならぬことを示しています。もし、国際交流員が、家のこと、自動車の運転のこと、買い物などで問題が起きたら、どうしたらよいのか日本人に教えてもらったり、手伝ってもらわなければなりません。また、言葉が通じないのでよい人間関係を作っていくのも難しいものがあります。

この国際交流員の招へい事業によって、陸別の町民が英語に対する興味を持ちつづけ、願わくば陸別町民の中から英語圏での生活や仕事をする人が出てくれればと思います。

私は、国際交流員は、町民とよい関係を継続し、なるべく日本語を使って会話をし、よき隣人でありよき友人であるべきと思っています。これを実行するためには、国際交流員はできるだけ多くの町のイベントに参加して、町民とコミュニケーションを図る必要があると思います。町民みなさんと交流し、この町の一員でありつづけることは私にとつて喜びなのです。どうかみなさんが私をお話しするときは、恥ずかしがらないでほしいと思います。私は人を嘔んだりしません。できうればできるだけ多くの人たちと知り合うことができればよいと思っています。

今月はこれまでです。また次回お会いしましょう。

あしよるから ほんべつから

このコーナーでは、足寄町、本別町それぞれの町の情報を掲載しています。

ネパールあしよる (道立足寄少年自然の家) からののお知らせ

☆こどもの日フェスティバル  
 日時 5月5日(日・祝日)午前9時～午後3時  
 内容 熱気球体験試乗・お祭りコーナー(ヨーヨー・わたあめなど)・フリーマーケット・工作体験コーナー・チャレンジコーナー(ゲームなど)・食堂開放・大浴場開放

※どなたでも参加可能ですので、お気軽にお越し下さい。

☆開館時間・開館日変更  
 これまで日曜日のご利用時間は午後1時30分までとなっていましたが、4月からは他の曜日と同じように午後5時30分までとなります。

また、7月・8月は月曜日も開館しますので、日曜日から月曜日にかけての宿泊も可能となります。

研修などを目的とした日帰りや宿泊で、大いにネパール足寄をご利用下さい。

なお、ご利用にあたっては1カ月以上前に電話予約等が必要となります。

詳細 ネパールあしよる(道立足寄少年自然の家)  
 電話5-6111  
<http://wa.manabi.pref.hokkaido.jp/asyoro>

宿泊施設 義経の里御所 からののお知らせ

本別公園内に5棟ある純和風宿泊施設「御所」が人気を集めています。

義経の里御所(5棟)  
 《完全予約制》  
 宿泊日の6カ月前から予約を受け付けます。

○宿泊料=1棟1泊 9,000円  
 ○定員=1棟5人まで(1人からお泊まりいただけます)

○お食事=材料をお持ち込みで自炊できます。  
 調理用具/電気コンロ、炊飯器、鍋、フライパン、トースター、電子レンジ、冷蔵庫

※外食ご希望の場合は、宿泊予約の際にお申し込み下さい。

(洋・和食、バーベキュー ¥900～¥1,600)  
 ○チェックイン=午後2時から午後4時30分  
 ○チェックアウト=午前10時まで

お問い合わせ先  
 本別公園総合案内 電話2-4441  
 (受付時間/午前9時～午後5時)



# SPORTS topics

平成14年2月20日・21日の2日間、陸別町教育委員会主催による第16回冬季ミニバレー大会が陸別中学校体育館で開催されました。本大会には愛好者18チーム延べ約180名が参加し、熱戦が繰りひろげられました

予選リーグ後、1・2位のAクラスと2・3位のBクラスにわかれて決勝・交流トーナメント戦を行いました。

## 第16回冬季ミニバレー大会



### 成績結果Aクラス

優勝 若葉A  
 (平井 均、丹野景広、平井久美子)  
 松本己紀子  
 準優勝 若葉B  
 第3位 新町あら～き



### 成績結果Bクラス

優勝 新町す～サン  
 (鈴木 稔、白川 光男、大淵 文子)  
 (大竹美千代、水間 史人)  
 準優勝 若葉C  
 第3位 元町B

## 第4回町民しばれパークゴルフ大会



平成14年2月17日、陸別町教育委員会主催による第4回町民しばれパークゴルフ大会が下陸別町民運動場特設コースで開催されました。本大会には愛好者40名が参加し、9ホールのコースを3ラウンド合計27ホールで熱戦が繰りひろげられました。ホールインワンも24本出るなど1打1打に一喜一憂していました。

### 成績結果

	男子の部(スコア)	女子の部(スコア)
優勝	土井 勝 夫(65)	妹尾 豊 子(72)
準優勝	武田 辰 利(69)	小西 和 子(73)
第3位	新庄 敏 明(71)	朝倉 順 子(73)

## 陸別オーロラチーム ミニバレー2大会で優勝

3月10日丸瀬布町で開催された第4回丸瀬布ミニバレー協会会長杯ミニバレー大会で、陸別から参加の陸別オーロラチームが女子の部で優勝しました。また、2月3日に開かれた第2回湧別町ミニバレー協会会長杯の大会でも陸別オーロラチームが女子の部で優勝しています。





# 健康コーナー 45

春から運動をはじめませんか

## 4月・5月の予定

- 4月 15日 シェイプアップ教室
- 16日 お元気サロン
- 17日 フィットネス教室
- 22日 シェイプアップ教室
- 24日 フィットネス教室
- 25日 乳幼児相談
- 5月 7日 お元気サロン
- 8日 フィットネス教室
- 13日 シェイプアップ教室

紹介します。運動の内容は、歩く、音楽に合わせ動くエアロビクスダンス、泳ぐなどの有酸素運動と、ダンベルやチューブもしくは自

春になったら何か新しいことを始めてみようかなあと思う人が多いと思います。その一つに運動を始めてみようと思う方もいるのではないのでしょうか。運動内容については年齢や病気、体力など人それぞれ個人差が大きいのので、ここでは一般的な運動の取り組み方、考え方を紹介します。

**お元気サロンが始まります。**  
4月から介護予防事業として“お元気サロン”を始めます。この事業は主に独居老人世帯、高齢者世帯、虚弱な方を対象として体操や室内ゲーム、健康相談を行います。保健師、看護師、ヘルパーが対応します。

**平成14年度の主な検診**  
平成14年度の検診についてお知らせします。昨年と比べ実施時期が異なるものがありますので、間違わないようご注意ください。時間・場所等詳細は後日、改めてお知らせします。

- 5月31日 骨粗鬆症検診
- 7月31日、8月1、2日 結核検診(町内巡回)
- 9月2、3日 胃・肺・大腸がん検診
- 10月4日 子宮・乳がん検診
- 10月11日 結核検診
- 11月20、21日 巡回ドック(生活習慣病とガン検診)
- 3月6日 子宮・乳がん検診
- 3月中旬 エキノコックス検診
- ※子宮がん・乳がんの検診は同日になりました。
- ※乳児・幼児の予防接種、健診の日程は決まりました。該当の家庭へ連絡致します。
- ※胃・肺・大腸がん検診は9月のみ、巡回ドックは11月のみです。

分の体重を利用した筋力トレーニングがよく知られていません。以前は血圧を下げる、善玉コレステロールを増やすことを主な目的として有酸素運動が注目されましたが、今は有酸素運動プラス筋力トレーニングの考え方に変わってきています。筋力トレーニングは骨折し寝たきりにつながる転倒を予防する、疲れにくい体をつくる、太りにくい体になるなど快適な生活を送ることに結びつきます。

筋力トレーニングは何も大がかりなことをするのではなく、腹筋や腕立て伏せなど自分の体重を利用して行うことができます。

ぜひ、生活の中に運動を(特に筋力トレーニングを)取り入れてみましょう。(詳しいことはぜひ、保健師までお問い合わせ下さい。)

日	内容	人数
2月 4日	健康相談(市街)	13名
4日	シェイプアップ教室	15名
5日	リハビリ教室	5名
6日	フィットネス教室	10名
7日	乳児・1歳児健診	合計14名
12日	リハビリ教室	4名
13日	ツ反接種	2名
15日	フィットネス教室	6名
18日	BCG接種	2名
20日	シェイプアップ教室	4名
21日	フィットネス教室	4名
25日	エキノコックス検診	31名
26日	デイ・ケア	6名
26日	シェイプアップ教室	12名
27日	リハビリ教室	5名
27日	3種混合予防接種	18名
28日	フィットネス教室	8名
28日	乳幼児相談	7名

健康づくりの足あと

雑巾をプレゼント

3月4日、リハビリ教室の参加者が入浴介助のお役に立つようにと町に自分たちが縫った雑巾をプレゼントしました。保健福祉推進センター土屋次長よりお礼の言葉を頂き参加者は社会貢献できたことをとても喜んでいました。今後も取組みたいと思いました。



## 健康三三知識

高血圧の基準は、以前は、最大血圧(上)が160以上または最小血圧(下)が95以上でした。この基準は見直され現在は「上が140以上または下が90以上」で高血圧とされています。

高血圧は心臓病や脳卒中の危険因子となります。慢性の低血圧の人は正常血圧の人より長寿であることが明らかに、血圧は低めにコントロールすることが大切です。

血圧を下げる食生活のポイントは、食塩を減らす、カリウムや抗酸化物質の多い果物や緑黄色野菜、海藻、大豆製品を毎日とる、肉より魚を多くする、などです。

## ーひとことー

男性の看護職員のテーマのテレビドラマがありました。女性の看護婦に対し男性は「看護士」でしたが、3月から「看護師」の名で統一されました。法改正があり保健師は「保健師」助産婦は「助産師」です。性別による相違をなくすための名称改正です。

「師」の語には、特定の技能を身につけている人・人を教える人、の意があります。

新しい名称になじんでいた、その名にふさわしい専門職業人でありたいと思います。

保健師 森下



〈3月25日現在コテージ予約状況〉

※予約は既にうまっている場合があります。最新の予約状況は直接コテージ村管理棟へご確認下さい。

4月	コテージ	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	予約状況	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	6人用	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○
	10人用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○余裕あります ●満室です △予約が入ってます ※予約はお早めにコテージ村管理棟へ(TEL7-4040 FAX7-4041)

5月	コテージ	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	予約状況	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	6人用	○	△	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○
	10人用	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

善意に深く感謝いたします

陸別町社会福祉協議会のボランティアセンター(愛情銀行)へ寄せられたご寄付です。『社協だより“ふれあいネットワークりくべつ”』発行の際に掲載していますが、時期が遅くなってしまうこともあり、この場を借りて皆様の善意に深く感謝申し上げます。

平成14年2月15日～平成14年3月18日

住所	氏名	金額	指定先	内容
下陸別	小西喜久子	10,000	社会福祉協議会	夫の逝去に際して
大通	児玉良機	300,000	社会福祉協議会	妻の逝去に際して
陸別カラオケクラブ 会長 村松武範		50,000	社会福祉協議会	福祉に

(敬称略)

分収造林に対し感謝状

町は、このほど国有林の分収造林に対して北海道森林管理局長より感謝状が贈呈されました。これは、学校分収造林、一般分収造林、記念分収造林に積極的に取り組み、健全な事業を実施していることが認められたもので、3月5日に伝達されました。



ご寄付ありがとうございます。  
 ◎陸別町下陸別小西喜久子さんから診療所建設資金として2万円が寄付されました。  
 ◎陸別町大通児玉良機さんから診療所建設資金として50万円、ふるさと整備資金として50万円、文化振興に関する資金として20万円が寄付されました。  
 ◎町内下陸別の廣谷岩雄さんから、道路用地として、18.8㎡の土地が寄付されました。

ご厚意

町民のうごき

うぶごえ

大口 凜 215 泰史さん  
美登利さん

鈴木朋華 219 輝美さん  
弘美さん

米倉沙耶 222 剛さん  
直子さん

棟方里緒 225 勝則さん  
志穂理さん

上村慈星 228 昭夫さん  
浩子さん

おくやみ

薄田昌之 49歳 25若葉町

小西誠二 66歳 28下陸別

児玉陽子 54歳 37大通

小田ヨシエ 94歳 310共栄第1

伊藤 勇 83歳 317共栄第1

林 ミツオ 83歳 322下陸別

**町の人口・世帯数**  
 14. 2.28 (カッコ内は前月比)

人口	3,253人(±0)
男	1,602人(-4)
女	1,651人(+4)
世帯数	1,467戸(±0)

友好町民 H14.2.28現在  
**498人**  
 (前月比+2人)

ホームページアドレス  
<http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/>

● 広報りくべつ ● 平成十四年四月二日発行(四九三号) ● 編集発行/陸別町役場企画商工課広報広聴課 ● 印刷/本別印刷株式会社